

# 学力分析シート【学年：3年 教科：理科】

実施日：令和2年2月5日

実施テスト名【 第4回実力テスト 】

作成者【 佐藤雄哉 】

課題が大きいと考えられる問題（正答率が低い、県との差が大きい）

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
3(4)②	シソチョウがもつは虫類の特徴を問う問題	35.8	62.9	シソチョウという生物がどのようなものなのか理解できていない。は虫類の特徴を理解することができない。など知識の定着が不十分であったと考えられる。	基礎的知識の習得のために、ドリル学習や復習課題の小テストを実施し、繰り返し取り組む。また、映像や図などを用いて、視覚的に捉えさせ、定着させる。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
4(2)	化学反応によってできた黒色の物質(硫化鉄)を化学式で問う問題	25.8	40.2	鉄、硫黄の元素記号が正しく理解できていない(無答率が27.5%であった)、誤答も多いことから化学式の意味を正しく理解できていない。など知識の定着が不十分であったと考えられる。	基礎的知識の習得のために、ドリル学習や復習課題の小テストを実施し、繰り返し取り組む。また、実験や映像などを用いて、視覚的に捉えさせ、定着させる。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
5(4)	図の地層から海の深さの変化について思考し、説明する問い	1.7	3.5	図の柱状図にある泥岩、砂岩の層と粒の大きさのほど下の層に堆積することの関係性や図を正しく読み取り、思考することができていない。など知識を整理し、活用する力が不十分であったと考えられる。	文章と図を正しく理解し、自分の中で整理できる力を身につけるために、思考問題に繰り返し取り組む。また、日々の授業から思考する場面や課題を与え、知識を活用する力を身につけさせる。

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違える児童が多かった。算数科の「対称」と間違える児童が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。	○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。